

みんなの伝言板



第31回わんぱく相撲西入間大会 坂戸場所力士募集

参加資格：4・5才児、小学1～6年生(男・女) 練習日：4月8日(日)から毎週日曜日(4月29日・5月6日除く。午前中)の計5日 ※大会期日は5月27日(日) 場所：坂戸市民総合運動公園(相撲場、アリーナ) 主催：公益社団法人 西入間青年会議所・坂戸市教育委員会 出場申込期限：5月7日(月) 問合せ：坂戸市立北坂戸公民館 ☎ 283-3962、FAX284-1370

チャリティーフリーマーケット出店者募集

地球環境と社会福祉の充実に、5月20日(日) 午前9時30分～午後1時に開催する「チャリティーフリーマーケット」に出店いただける方を募集します。募集期間：4月9日(月)～5月11日(金) 場所：ポッシュ(株)大駐車場(東松山市内) 出店料：1区画(車2台分)1,000円 協力金：個人売り上げ(自己申告)の10%程度 申込・問合せ：比企地域労働者福祉協議会事務局(ポッシュ労働組合内) 亀井 ☎ 0493-22-2511

第2回音楽療法の集い in 比企

日時：5月26日(土) 午後3時から(開場は午後2時30分) 場所：埼玉成恵会病院 多目的ホール(東松山市石橋1721) 内容：音楽療法とは何か(高齢者領域による講演・デモンストレーション、児童領域による講演・デモンストレーション) 入場料：無料 定員：先着240人(要整理券) 整理券申込・問合せ：埼玉成恵会病院 蒲田・落合・松阪 ☎ 0493-23-1221

第55回平成美術会展

会期：4月24日(火)～30日(月・振休) 時間：午前10時～午後5時(ただし、24日は午後1時から。30日は午後4時まで) 場所：東松山市立図書館 3階展示室 内容：月2回の例会で制作した人物画作品を中心に、風景画や静物画等を油彩・水彩などで表現した約100作品の展示 入場料：無料 後援：東松山市教育委員会 問合せ：平成美術会会長 馬橋 ☎ 0493-22-1789

スプリングコンサート2018

アニメのテーマ曲を中心にした演奏会です。日時：4月22日(日) 午後2時～4時(午後1時30分開場) 場所：東松山市市民文化センター 大ホール 費用：無料 主催・問合せ：東松山市ウインドアンサンブル代表 大塚 ☎ 0493-24-3048

宇宙のまち“夢づくり”事業 「日本宇宙少年団鳩山分団」結団式



ブルースーツを身にまとい、新たな活動をスタートさせました。

3月18日、JAXA 地球観測センターで「日本宇宙少年団鳩山分団結団式」が行われ、入団者や指導者、関係者らが集まりました。宇宙少年団は、「鳩山町まち・ひと・しごと創生総合戦略」で位置づけられた、宇宙のまち“夢づくり”事業の一環で発足したもので、ふるさと納税の一部が活動資金に充てられています。

式では、結団宣言や認証状授与などが行われた後、宇宙や宇宙少年団の活動理念に関する講演会も行われました。今後、施設見学や工作など、様々な体験しながら探求心などを育てます。

パラリンピック競技を皆で楽しむ ボッチャ体験会



的となる白いボールに、赤・青色のボールを投げる参加者

3月17日、地域包括ケアセンターで「ボッチャを体験しよう」(主催：役場長寿福祉課・オリープの会(鳩山町障がい者団体連絡協議会)。協力：埼玉県障害者スポーツ協会・埼玉県ボッチャ協会・町社会福祉協議会)が行われました。

障がいのある方や子どもなど、40人近くの参加者がボッチャ(球を的に転がし競うスポーツ)を体験。シンプルながらも戦略性が高く頭を使う競技の魅力を肌で感じた参加者からは、「楽しかった。またやりたい」「誰とも楽しめるスポーツで面白い」などの声があがっていました。



このページでは、皆さんのコミュニティ活動や各種協議会・委員会などの活動に関連する記事や、皆さんからお寄せいただいた情報を掲載します。

◆情報は、掲載希望月の前々月末日までに、役場政策課(〒350-0392 鳩山町大字大豆戸184-16・TEL296-1212・FAX296-2594・Eメール h220@town.hatoyama.lg.jp)にお寄せください。

まちレポ

町内の幼稚園・ 小中学校で卒業(園)式

3月15日、鳩山中学校で卒業式が行われ、卒業生が思い出いっぱいの学び舎から巣立ちました。

また、3月20日には鳩山幼稚園で卒園式が、3月23日には町内3つの小学校で卒業式が行われ、卒園児・卒業生らが思い出の詰まった場所から卒業すると同時に、4月からの新たな生活の第一歩となる門出の日を迎えました。

これからも自分なりの目標を見つけて、更なる成長を目指してください！

なお、本年度の卒業生数は次のとおりです。

鳩山幼稚園：18人、亀井小学校：15人、今宿小学校32人、鳩山小学校：42人、鳩山中学校：103人。



思い出をかみしめ、式場を後にする鳩山中学校の卒業生たち



卒業証書を受け取る卒業生

卒業生代表として「別れのこぼれ」を話す吉澤 和輝さん。学校生活での思い出を振り返った後、先生や友だち、そして親への感謝の言葉を述べました。

投稿

父がくれた慈悲の心

父が農家の次男として生まれたのは、明治33年である。その父の口ぐせは「俺は昭和天皇と同じ年だ!!」であった。幼い頃から今でも私の耳に残っている。そういう父の思い出の一つにへびとの関わりがある。小学生の頃であろうか、ある日母屋の離れにあった風呂場のレンガの割れ目に挟まっていたが、父は何とか開放してあげようと奮闘していた。それも素手で平然と。自由な身となったこのへびはソロソロソロと納屋の方へと姿を消した。また、真夜中に庭の二ワトリ小屋に忍び込み悪さをすることもあったが、それでも父はこのへびを殺めるようなことは

しなかった。父は、我が家の納屋に棲みつくこのへびを農家の家守として崇めていたのだと子どもながらに思った。そういう父の下で育った私は、今でもへびと遭遇しても決して驚くことはない。また、真夏の乾燥しきった土中からはい出してきたミミズを路上で見つけたりすると、そっと草むらに戻したり、セミの死骸を見つけたら道の端に寄せたりすることのできる人間になっていた。これは、虫も殺さぬ仏様にも似た父の後ろ姿を見て育った故であろうか。 松ヶ丘 分藤 美穂

「みんなの伝言板」 「投稿」への掲載に あたっての注意事項

- ◆営利目的の内容など、掲載内容によってはお断りする場合がございます。また、分量によっては、内容・文字数をご相談させていただきます。場合によっては掲載されません。
- ◆掲載は、原則先着順とします。掲載希望月の前々月末日までに原稿をお寄せください。(掲載依頼先は、24ページ右上を参照。)
- ◆同団体・同内容による連続掲載はご遠慮ください。(他の掲載希望者を優先します)